

別表 1

報告項目	内 容
調査結果一覧表	結果個表から得られる各測定点での実測濃度及び毒性当量(TEQ)の一覧表及び調査付帯項目の調査結果一覧
計量証明書	分析結果に係る計量証明書
調査付帯項目	別添1参照
結果個表	各媒体ごとのマニュアルに準じた形式で結果を表示したもの。(二重測定、操作ブランク及びトラベルブランク試験結果)
異性体組成図	異性体、同族体の分布を棒グラフで表したもの。
精度管理総括表	別添2様式にて記載する事。
備 考	上記以外で特記すべきことがあれば作成すること。

別添1

調査付帯項目

項目	内容
大気調査	気温 直射日光や動力機関の熱などを避け、できるだけ風通しの良い場所で測定する。
	天候 地上気象観測法に基づく目視観測で、該当する現象あるいは、雲量によって判断する。また、風向と風力階級を付記する。
	採取位置 地上から採取機器設置場所までのおおよその高さを記録する。
	周辺状況 測定地点付近の敷地形状や地形、建築物・樹木等の有無と位置について略図と共に記録する。(写真で代替可)
	特記事項 測定地点近傍における燃焼行為及びその痕跡、排ガスの排出状況、不法投棄及び工事の有無等、測定に影響を与える事項その他について、観測できる範囲で確認できる事項を記録する。
	写真 測定地点の状況、測定地点周辺の状況及び試料採取状況を撮影する。
土壤調査	気温 直射日光や動力機関の熱などを避け、できるだけ風通しの良い場所で測定する。
	天候 地上気象観測法に基づく目視観測で、該当する現象あるいは、雲量によって判断する。また、風向と風力階級を付記する。
	色相 目視による色を記録する。
	臭気 異常の有無について記録する。
	試料採取方法 試料を採取した5地点の位置図と深さを記録する。
	夾雜物 土壤成分以外で目視確認できるもの。
	野外土性 環境省マニュアルに記載された方法で測定する。
	含水率及び強熱減量 環境省マニュアルに記載された方法で測定する。
	表面状態 採取地点上の植生の有無、枯葉等の被覆物の有無を記録する。
	周辺状況 採取地点付近の敷地形状や地形、建築物・樹木等の有無と位置について、略図と共に記録する。(写真で代替可)
	特記事項 測定地点近傍における燃焼行為及びその痕跡、排ガスの排出状況、不法投棄及び工事の有無等、測定に影響を与える事項その他について、観測できる範囲で確認できる事項を記録する。
	写真 採取地点の状況、採取地点周辺の状況及び試料採取状況を撮影する。

精度管理総括表

整 理 番 号	
調査年月日	
調 査 地 点	
調 査 媒 体	
測定方法フロー	別途記載
標準物質の内容	別途記載
クリーンアップスパイクの回収率	全て 50—120% の範囲内 <input type="checkbox"/> 一部 50—120% の範囲外 <input type="checkbox"/>
サンプリングスパイクの回収率	全て 70—130% の範囲内 <input type="checkbox"/> 一部 70—130% の範囲外 <input type="checkbox"/>
クロマトグラム	全て良好 <input type="checkbox"/> 一部不良 <input type="checkbox"/>
検 量 線	全て良好 <input type="checkbox"/> 一部不良 <input type="checkbox"/>
装置感度変動	全て±10%以下 <input type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/>
MS 分解能	全て 10000 以上 <input type="checkbox"/> 一部 10000 未満 <input type="checkbox"/>
ロックマスの変動	全て良好 <input type="checkbox"/> 一部不良 <input type="checkbox"/>
レシオ(対象ピークの面積比と推定同位体存在比の比)	全て±15%以下 <input type="checkbox"/> 一部±15%超 <input type="checkbox"/>
残試料の保管状況	原試料 あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 粗抽出液 あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> GC/MS 測定液 あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>
備 考	